

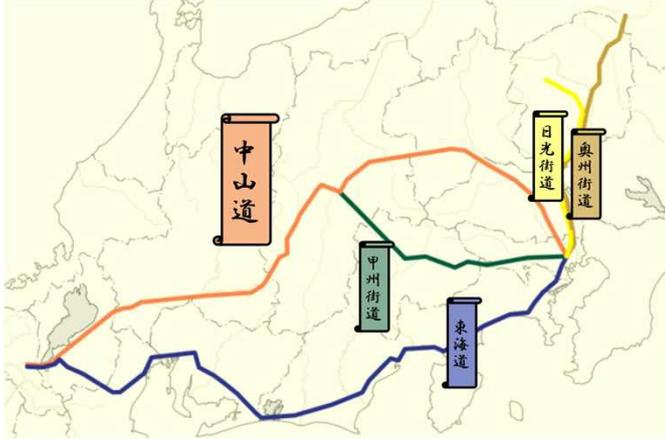
関東運輸局

Kanto District Transport Bureau



中山道ってどんな道？

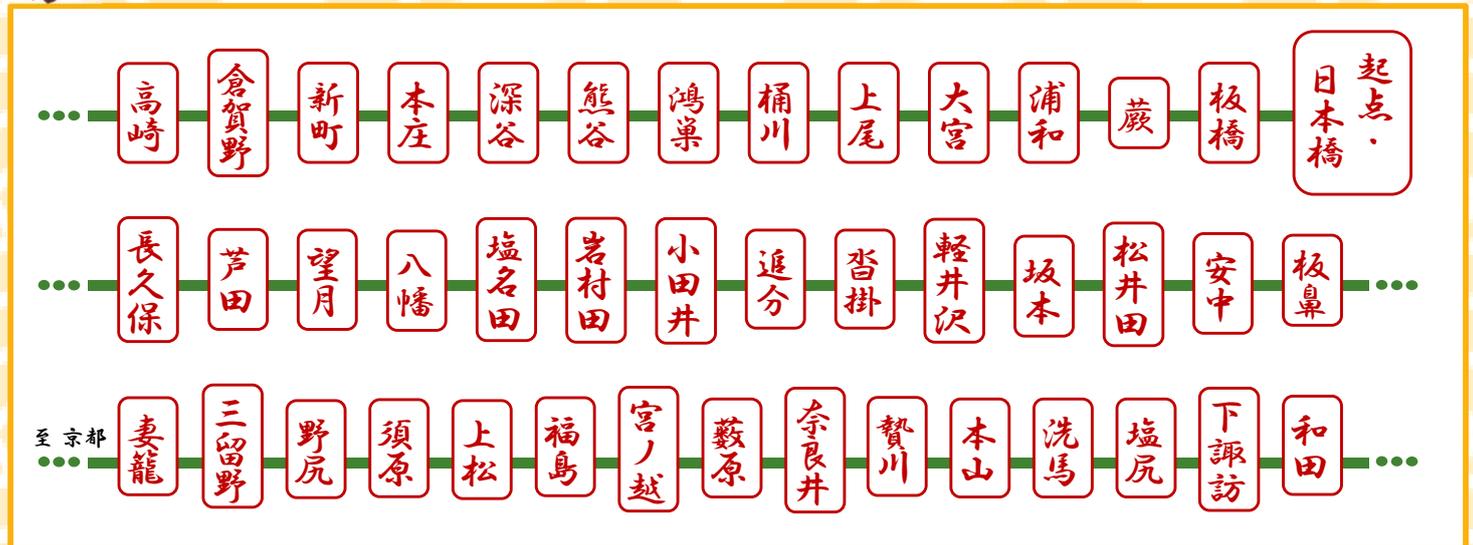
中山道は、東海道と同じく江戸・日本橋と京都・三条大橋を結びますが、海沿いを通る東海道とは反対の山側を周るルートになっています。また、途中の信濃国・下諏訪宿では、日本橋を発ち甲斐国へと至る甲州街道が合流します。



中山道は五街道の中でも最長の距離で、その名の通り山の中を通るので、峠や山越えが多く険しい道のりが特徴です。しかし、東海道と比べて人の往来や河川の氾濫、そして取り締まりの厳しい関所が少なく、宿賃も安かったことなどから、庶民の間では中山道を選ぶ旅人も多かったと言われています。

また、「すべて山の中である」の文言で知られる木曾路（贄川～馬籠）では、現在も宿場町の面影を残す町並みが見られる地域が多く、国内外問わず観光客に人気を博しています。

宿場一覧 (広域関東エリア)



その歴史、さまざまなり

中山道は「姫街道」？

江戸時代、中山道は別名「姫街道」と呼ばれていたことをご存じでしょうか。由来については諸説ありますが、その一つとして、交通量が少なく、東海道のような難所もなく、安全でスムーズに通行できるルートとして、京都から姫君が将軍家に嫁ぐ際に多く利用されていたことから、そのような呼び名がついたと言われています。

14代将軍・徳川家茂のもとに皇女であった和宮が降嫁した際も、嫁入り行列のルートとして中山道が利用され、街道に非常に大きな賑わいをもたらしたとされています。



かんながわ 神流川の戦い ～関東地方最大の合戦～

1582年、「本能寺の変」からおよそ二週間後。現在の群馬県ほぼ全域である上野国（こうずけのくに）を支配する信長勢の滝川一益と、上野国を狙う武蔵国の北条氏直・氏邦が、現在の埼玉県上里町と群馬県高崎市の境に位置する神流川で、戦国時代における関東地方最大の規模の軍勢を引き連れ、激突しました。

結果は滝川軍の大敗に終わり、一益は上野国を手放し伊勢に逃走しました。また、この戦いがきっかけとなり、北条勢が行軍した先の旧武田領をめぐって北条家・徳川家・上杉家が三つ巴となる「天正壬午の乱」に発展していきました。



現在の神流川古戦場跡 写真提供：上里町

中山道沿いの観光コンテンツ（一例）

板橋 こども動物園



写真提供：板橋区観光協会

板橋区で長年愛されている、動物たちと直接触れ合えることのできる憩いの場。2020年にリニューアルオープンし、家族連れが安心して利用できる設備も充実しています。

大宮 武蔵一宮 氷川神社



写真提供：さいたま国際観光協会

首都圏に280数社ある「氷川神社」の総本社で、2,400年以上の歴史を持つといわれる神社です。大いなる宮居として「大宮」という地名の由来になったとも言われています。

深谷 渋沢栄一記念館



写真提供：深谷市

「近代日本経済の父」として知られる渋沢栄一。その生まれ故郷である深谷に建てられたこの記念館では、栄一ゆかりの写真や遺墨などが数多く展示されています。

安中 碓氷峠鉄道文化むら



写真提供：安中市

1997年に運行を終了した碓氷線の歴史を伝える資料館。峠を力強く進んでいたアプト式機関車の展示など、貴重な鉄道の歴史に触れることができます。

下諏訪 温泉



写真提供：下諏訪温泉旅館組合

甲州街道との合流地で、中山道随一の温泉が湧き出る宿場町として栄えた下諏訪。旅館、日帰り温泉、共同浴場など様々なタイプの施設が点在し、気軽に温泉巡りが楽しめます。

奈良井 奈良井宿の街並み



写真提供：奈良井宿観光協会

中山道の真ん中に位置する奈良井宿は、峠を越えた旅人で賑わっていました。現代にその風景を伝える街並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

ご当地グルメの楽しみもたくさん！

浦和 うなぎ料理

熊谷 雪くま

写真提供：熊谷市

望月 駒月みそかつ丼

写真提供：佐久市観光協会

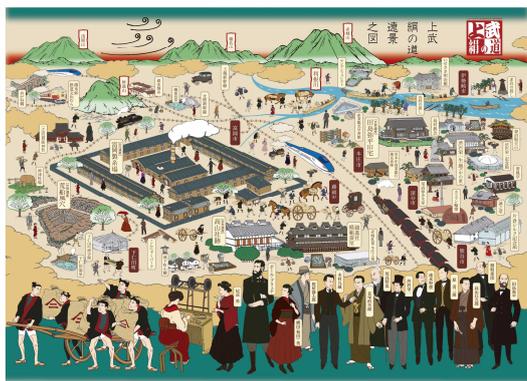
塩尻 山賊焼き

写真提供：(一社)塩尻市観光協会

実際に行われている街道観光の取り組み

上武 絹の道

養蚕業が盛んであった上武地方にて、絹の原料である蚕の繭を富岡製糸場まで運ぶ道筋であった埼玉県熊谷市、深谷市、本庄市、群馬県藤岡市、伊勢崎市、下仁田町、そして富岡市の6市1町が連携し、宝探しイベントやツアー造成などの観光振興を行っています。



提供：上武絹の道運営協議会

#歩こう中山道木曾路

長野県木曾地域振興局では、公式Instagramで旅行者に対して情報発信を行うとともに、木曾路の景色や風景の写真にハッシュタグ「#歩こう中山道木曾路」「#walk_nakasendokisoji」をつけて投稿してもらう取り組みを行っています。また、投稿された写真を使用した「歩こう中山道木曾路カード」の配布も行っています。



長野県木曾地域振興局
長野県木曾地域振興局の公式アカウントです。中山道木曾路のすてきな写真を募集しています！#歩こう中山道木曾路または#walk_nakasendokisoji をつけて投稿してください。中山道・木曾路を盛り上げましょう♪
www.pref.nagano.lg.jp/kisochi/kisochi-...



提供：木曾地域振興局

主役は地域の皆様です！

「地域の魅力をもっと発信したい！」「地域に活気を取り戻したい！」江戸街道プロジェクトは、そんな皆様の想いに応えていきます。

自治体の枠を超えて繋がる“道”。そこには歴史や文化、自然、食、温泉など、魅力的な観光資源が点在し、旅行者と地域、そして人々の心を繋いでいます。このプロジェクトは、地域の皆様に街道観光を推進していただくことを目的としており、関東運輸局はその活動の道標をお示しできるよう、取り組んで参ります。

有識者のひとこと



(株)ジャーマン・インターナショナル 代表取締役社長
ルース・マリー・ジャーマン 氏

外国籍の皆さんの間では、「江戸」よりも「東京」の認知度が高いようです。初来日の友人に「昔は東京のことを江戸と呼んでいたんだよ」と説明しなければなりません。我々長期滞在の人たちにとっては、「江戸」という言葉は現代日本の基盤であり、江戸の歴史、食事、ライフスタイルに非常に魅力を感じています。今の日本を理解しようと思うなら、江戸時代の勉強は欠かせないことです。今回のプロジェクトを通じて、江戸の魅力を少しでも分かりやすく表現できるよう努力し、多くの方々にその江戸のロマンを伝えていけたらと考えています。

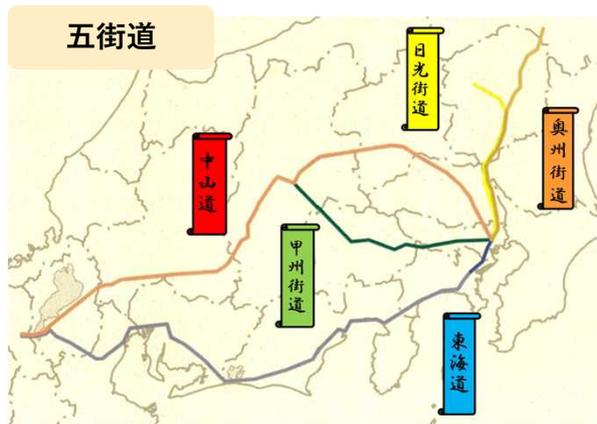
江戸街道プロジェクトとは

江戸時代の創成期に徳川家康が交通の要所として整備に取り組んだ、日本橋を起点とする「東海道」「甲州街道」「中山道」「日光街道」「奥州街道」の通称“五街道”と、その“脇往還”として整備された「水戸街道」や「成田街道」など。

関東運輸局では、これらを含めた広域関東エリア*1の街道沿いに散らばる魅力的なコンテンツを、『江戸街道』という統一テーマにより新たにブランディングをはかります。

本プロジェクトは、官民一体となって広域関東の魅力を国内外へ発信し、コロナ禍で疲弊した地域に元気を取り戻すための新しい試みです。

*1 福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県の1都10県



◆ロゴマーク

街道ブランドによりこれからも様々な歴史を結ぶことを象徴的に表現するため、濃い色から広がる5色のラインは、地域それぞれの特色ある営みが詰まった歴史を未来に向け発展していく姿をイメージし、円環の2色は広域関東の海、山等の豊富な自然を表すデザインとしました。



プロジェクトHP

YouTube
(シンポジウム映像)

関東運輸局
Facebook

リンク



表紙写真：奈良井宿観光協会 提供
製作：国土交通省 関東運輸局観光部

2023. 11月版